

令和2年度授業改善推進プラン【1年生】

教科	児童の課題	具体的な改善のための方策
国語	<p>△書き順を正しく覚えることができていない児童がいる。</p> <p>△促音や拗音を適切に書くことができない児童がいる。</p> <p>△テストの問題など、何を聞かれているのか正しく読むことが難しい児童がいる。</p> <p>△話し合い活動を自分たちで進めるのが難しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字は、「空書き、指書き、鉛筆書き」などで書き順を確認し、最初に正確に漢字を覚えさせるようにする。 ・促音や拗音は、実際に発音をさせて、声に出しながら書く練習をさせる。 ・朝読書、音読の指導を徹底し、日頃から文章に親しませる。 ・「何が」「何を」「どう」「どんな」など、問いに使われる言葉を丸で囲むように促し、一人で読んでも、何を問われているのかが明確になるようにする。 ・話し合う活動を意図的に設定し、話し合いに慣れさせる。 ・ペア活動を普段から取り入れ、グループになっても順番に意見を言えるようにさせる。
算数	<p>△文章問題の題意を十分に理解せず、数字だけを見て立式しているため、題意にあった立式になっていない児童がいる。</p> <p>△「たしざん」や「ひきざん」の計算に時間がかかる児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「たしざん」や「ひきざん」の両方がある文章問題を用意し、キーワードに線を引かせたり、図にさせたりすることで、問題場面を具体的にイメージできるようにする。 ・数図の計算カードやフラッシュカードを使って、数の合成や補数などを身に付けさせることで、数的感覚を養う。
生活科	<p>△意欲はあるが、発見カードに気付きを書くことが難しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを意識させ、観点を示してから取り組ませる。 ・友達同士で発見カードを読み合い、「いいところ見つけ」をさせることで、次の観察に活かす。
音楽	<p>△曲のリズムに乗り、正しい指使いで鍵盤ハーモニカを演奏することが難しい児童がいる。</p> <p>△リズム打ちを正確に行うことが難しい児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の基本的な奏法を覚えさせ、1小節ごと確認しながら進め、その都度評価し、褒めていく。 ・友達とペアで教え合いながら、繰り返し練習をさせる。 ・リズムを声に出し、手と声の動きが一致するようにする。
図工	<p>△自分のイメージがなかなかまとまらず、作品作りに入るまでに時間がかかる児童がいる。</p> <p>△人物では、顔、首、体、手、足などのパーツがうまく描けない児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見本を見せながら道具や材料の適切な使い方を指導し、イメージが膨らむような作品事例を紹介する。ポイントを押さえて作業の手順を分かりやすく説明する。 ・人物の描き方を例示したり、友達の作品のよさを見つめたりする場を設定する。
体育	<p>△ケンケンパーなど、リズムに合わせて体を動かすことが苦手な児童がいる。</p> <p>△全身を使って、ボールを投げる、とるなどの動きがぎこちない児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム太鼓など、継続して準備運動に取り入れ、リズム感覚を養う。 ・ドッジボールなどのボール運動では、ミニコートで少人数の試合をするなど、ボールに触る機会を多くなるようにする。